

木造伝聖観音菩薩立像



指定区分	県指定重要文化財(彫刻)
読みかた	もくぞうでんしょうかんのんぼさつりゅうぞう
所在地	岡山市中区国富 安住院
指定年月日	平成12年3月28日
解説	<p>総高101.5cm、高95.5cm。一木造、鈍彫像。材は榿(かや)と思われ、肉身部や衣などの表面には細かく写実的な表現がみられる一方、意識的に丸鑿(まるのみ)の目を残す手法を用いている。制作年代は8世紀末から9世紀初頭と考えられ、現存する県内最古級の貴重な木造彫刻である。安住院は真言宗仁和寺派で、天平勝宝元年(749)報恩大師創建の備前48ヶ寺の一寺と伝えられる。</p>
アクセス方法	岡電バスまたは宇野バス「国富」下車徒歩約10分
公開状況	非公開
設備	<p>  駐車場  トイレ </p>
備考	安住院の多宝塔、仁王門は県重要文化財(建造物)に指定されています。